

日時：2012年3月17日（土）16：00～

場所：東洋大学6号館6303教室

日本パーソナリティ心理学会第104回常任理事会議事録（案）

出席者：浮谷秀一理事長、堀毛一也副理事長、小塩真司、中村真、藤田主一、向田久美子、
山崎晴美、渡邊芳之

委任状：二宮克美（理事長）、松田英子（理事長）

事務局：加藤司（事務局長）、太幡直也（幹事）

報告事項

I 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（渡邊委員長）

(1) 「パーソナリティ研究」の発行状況について

1) 「パーソナリティ研究」第20巻2号

パーソナリティ研究第20巻2号が発送された。

2) 「パーソナリティ研究」第20巻3号

以下の10論文（原著5，資料2，ショートレポート3）を掲載し，3月中の発行予定である。

番号	掲載番号	種別	題目	筆頭者
A-247	20-3-1	原著	日本版Brief Core Schema Scaleを用いた自己、他者スキーマの検討	内田知宏
A-244	20-3-2	原著	外見スキーマを測定する尺度の開発および外見スキーマとボディチェック認知の関連性	安保健理子
A-248	20-3-3	原著	抑うつ傾向と感情価が心理的時間に及ぼす影響	森田 麻登
A-258	20-3-4	原著	自己領域と他者領域の区分に基づいたレジリエンス及びストレス経験からの成長と情動知能の関連	野崎 優樹
S-189	20-3-5	原著	邦訳版自己概念の明確性尺度の作成および信頼性・妥当性の検討	徳永侑子
B-64	20-3-6	資料	自尊感情の変動性の測定手法に関する検討	市村美帆
B-66	20-3-7	資料	2次元斜交モデルによる色・形問題の検討	安田 傑
S-169	20-3-8	ショートレポート	重要他者に対する再確認傾向と気質および抑うつとの関連	渡辺伸子
S-201	20-3-9	ショートレポート	マキャベリアニズム尺度日本語版の作成とその信頼性・妥当性の検討	中村 敏健
S-192	20-3-10	ショートレポート	大学生における同一性の感覚と推論の誤り、ネガティブ情動傾向の関係	山川 樹

(2) 「パーソナリティ研究」の編集状況について

1) 「パーソナリティ研究」第21巻1号以降

3月14日現在で採択論文が9本ある。審査中の論文は48本である。

(3) 投稿状況について

昨年4月から3月14日までの投稿状況は以下の通りである。新規投稿はすべて新システムに移行した。

(4) 審査状況について

昨年4月から3月14日までの審査状況は以下の通りである。

5 その他

1) J-STAGE 新システムへの移行について

9月27日よりJ-STAGE電子投稿審査の新システムが稼働する。

旧システムでは、修正再審査となった論文に新システムへの修正投稿を依頼している。移行作業は3月末までに実施する。旧システムでの審査中の論文は9本に減少している。

2) 常任編集委員の交代・編集委員の追加について

*編集委員会内規の修正を委員会で検討する。

3) 事業計画の変更（科学研究費）について

第20巻のページ数減少に伴い、日本学術振興会への事業計画変更願いが承認された。

2 経常的研究交流委員会（二宮克美委員長：代理浮谷理事長）

(1) 公開シンポジウムについて

『子育て支援における心理学者の役割－実践と研究の狭間で－』

(2) 第21回大会開催時における委員会企画シンポジウムについて

下記のテーマで立案中

1) 「応用を目指す心理学者からのメッセージ：社交不安の立場から」

2) 「成人期研究とパーソナリティ研究を考える：成人期の役割期待に焦点をあてて」

3 広報委員会（小塩委員長）

(1) メールニュースのヘッダーについて

会費の納入状況についてお知らせするサービスについて、会員から不快であるという申し出があった。再度、このサービスについて検討され、継続することになった。

(2) 学会メールアドレスのアカウントの管理について

ドメイン移管に伴い、国際文献印刷社より、広報委員会が管理している。

事務局、機関、広報、経常の4つのアカウントを残すことにし、国際文献に移管することに承認された。

4 国際交流委員会（向田委員長）

(1) 英文原稿

Funder先生に3月末までに論文を寄稿していただくようお願いした。

(2) First World Conference on Personality (WCP)

サトウタツヤがprogram committeeのメンバーに決定した。

(3) 第21回大会企画

1) 招待講演

講演者：ヒューベルト・ハーマンズ

タイトル：The dialogical self: Positioning and counter-positioning in a globalizing world

2) 特別ワークショップ

講演者：アグニエスツカ・ハーマンズ-コノプカ

タイトル：Composition Work with Dialogical Self as an “artistic road” in practice

5 学会活性化委員会（藤田委員長）

昨年通りに、優秀大会発表賞の手続きを進めている。

大会時のワークショップを検討している（次回に報告する予定）。

次々大会より、査読付きの大会発表にするかどうか議論している。

6 各種電子化検討小委員会（中村委員長）

特になし。マイページの利用状況を把握し、今後検討する。

7 選挙管理委員会（堀毛委員長）

II 日本心理学諸学会連合

1 日本心理学諸学会連合について（浮谷理事長）

(1) 第2回定例理事会

定例理事会の内容について報告があった。第4回心理学検定の受験者が増え（2519名）黒字化したと報告があった。心理学検定のロゴマークが決定した。

(2) 心理職の国家資格化を目指す院内集会について

3月27日の集会（議員会館）についての説明がなされた。

2 心理学検定について（松田委員：代理加藤事務局長）

3月中に問題を作成し、4月に提出の予定である。8月26日（日曜日）に実施予定である。東京会場は、法政大学市ヶ谷キャンパスを予定している（藤田）。

III 事務局報告（加藤事務局長）

審議事項へ

IV 「パーソナリティ心理学ハンドブックについて」（浮谷理事長）

まもなくすべての原稿がそろろう。

V 第21回大会準備状況について（家島大会準備委員長：代理浮谷理事長）

1 申し込み

ポスター申込を3月14日まで延長

参加費の納入を5月31日まで延長

予約参加（発表なし）締切：2012年8月31日（当日参加もあり）

2 申込状況

ポスター発表：128件

自主シンポジウム：4件（+2件？）+経常2，活性化1，広報1，国際交流1（ハーマンス夫人WS）

シンポジウム：9件（or 11件？）

参加予定人数：218人

VI その他

1 有志賞（浮谷理事長）

推薦した会員者は落選した。

2 その他

なし。

審議事項

1 国際文献との年回契約に関する件（加藤事務局長）

以下、変更、追加の項目で、値上げが要請された。

1) 追加発送 1件100円→1冊100円

2) 機関販売 400円→1冊400円

3) 発送手数料

封入封緘（1部入れ）8円→10円

封入物1点増すごとに 3円→5円

折加工 1.5円→2円

4) ドメイン管理費 →削除

5) メーリングリストメンバー変更、再送処理(容量オーバーなどの理由による)

1ML/月 1,000円

承認された。

2 第103回常任理事会議事録承認に関する件（加藤事務局長）

承認された。

3 新入会員に関する件（加藤事務局長）

(1) 新入会希望者

メール審査の対象である下記の17名が追承認された。加えて、2012年度入会希望者の審査をした結果2名が承認された。

(2) 退会希望者

3名の退会者が承認された。

以上、新入会希望者、退会希望者の承認を受けて、3月14日現在、会員総数は898名である(賛助会員1名、名誉会員7名、一般会員605名、院生会員279名、学生会員6名)。

4 その他

なし

次回、4月28日（土曜日）、15：00から、東洋大学